生活 そのとき　あなたは？

～新型コロナウイルス感染症や災害から見えてきた私たちの生活～

新型コロナウイルス感染症による自粛生活や、各地を襲った大規模な水害等による避難生活などでは、人々の生活が今までの日常とかけ離れたものとなりました。こういう時に人権意識の希薄さが顕著に現れます。普段から人権を尊重する意識を高めておく必要があります。

世の中の様子を振り返りながら、**非常時における人権の大切さ**についてみなさんも一緒に考えてみましょう。

外出自粛がもたらした家庭での悪影響

性犯罪

SNSなどを通じて知り合った人物とやりとりを重ねる中で信頼関係を築き、言葉巧みに性的な画像を送るよう脅迫する被害などが起きています

女性の負担

3度の食事
家事、育児
片づかない部屋
自主学習の責任まで

配偶者やパートナーからの暴力（DV）・虐待

イライラして、ちょっとしたことで大声をだす

在宅勤務中に夫婦が子どもの前で激しく口論する

外出自粛や長期の休校により家族が自宅で過ごす時間が増加し、在宅勤務によるストレスや収入減などによって精神的余裕が失われることが、家庭内におけるDVや子供への虐待につながっています

災害時の避難所では

制約が多く不自由な生活を強いられる避難所では、自分や家族のことで余裕がなくなると、人権尊重の姿勢を忘れがちになるときがあります。周りの人たちとお互いに理解し、支え合い、それぞれの人権を守っていくためには、一体どのようなことを考えればよいでしょう。

○新型コロナウイルス感染症拡大により外出を自粛した生活では、家庭内でのDV・虐待の増加など、いろいろな問題が生じました。こういう時には、家庭内でのあつれきも起こりがちですが、家族がお互いに自分の思いを出し合い、コミュニケーションを取り合って、よりよい方法を見い出すことが大切です。家族だけで解決できないときは、地域の人や行政機関などに相談することも家族一人ひとりの人権を守る一つの方法です。

○避難所においては、男性・女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国籍の人など、さまざまな立場の視点からその生活を考えることが大切です。特に、介護を要する人や障がいのある人、乳幼児や妊婦など、災害時要援護者と呼ばれる人には十分に配慮しましょう。また、いざというときのために、前もって日常生活の中で「災害など非常時における対応」について考えておく必要があります。